

IN 瓢ヶ岳自然観察実習

11月21日に、温帯林の樹木を学ぶため、郡上市の瓢ヶ岳(1162m)で1年生が自然観察実習を行いました。

樹木観察実習では、ウリハダカエデ、カヤ、モミなど針葉樹と広葉樹の混ざった12種類の樹木の葉を識別するというテストに全員が合格し、林科の生徒として、樹木の知識を増やすことができました。





瓢ヶ岳山頂にて
記念写真



ふくべの森にて
記念写真

ふくべの森での樹木観察実習とレポート用紙

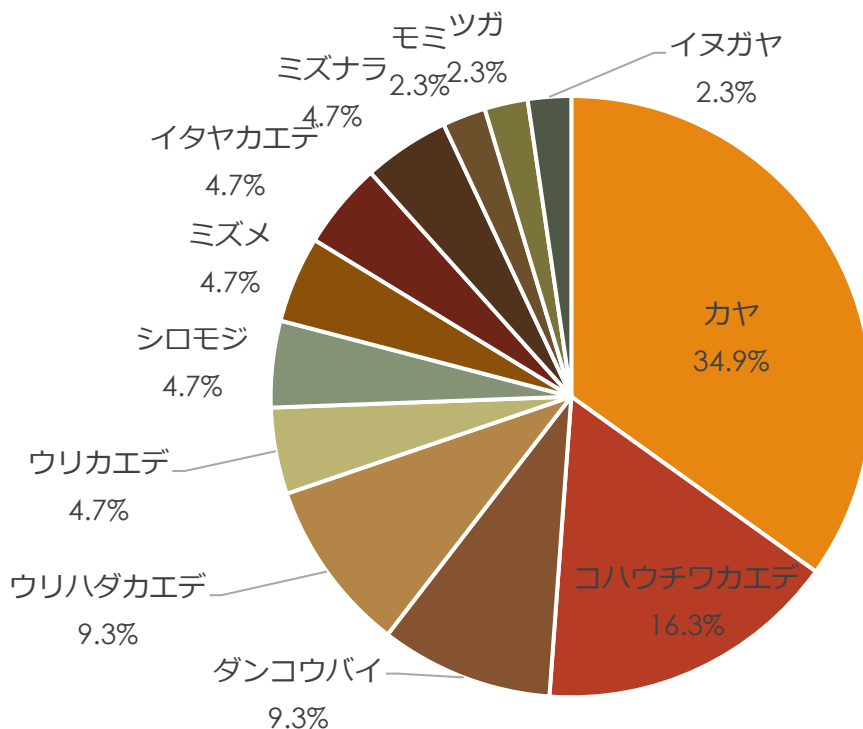


実習レポートより、生徒の感想

- ・瓢ヶ岳山頂からの景色がとても良かったです。雪をかぶった御嶽山が特に印象に残りました。
- ・ふくべの森は紅葉が綺麗でした。仲間と協力して樹木の葉を見つけることができて良かったです。
- ・コハウチワカエデは、とても紅葉が美しい木だと思いました。
- ・カヤは葉先が鋭いので、触るととても痛いのと、葉をちぎるとグレープフルーツの香りがすることが、印象に残りました。
- ・ミズナラとコナラはよく似ていると思いましたが、今回の実習で区別がつくようになって良かったです。

順位	樹種名	科名	針・広・常・落	回答数	特徴、雑学など
1	カヤ	イチイ科	常緑針葉樹	15	葉は左右対称で、先端は非常に鋭利なため、触ると痛いこと、枝が緑なのが特徴。陰樹で日陰に耐える高木である。
2	コハウチワカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	7	葉は分裂し、やや幅広い形で、鋸歯が目立つ。紅葉が美しい樹木。400m以上から生える。
3	ダンコウバイ	クスノキ科	落葉広葉樹	4	分裂するがシロモジほど切れ込まない。春の花は美しく、梅の香りがする。
4	ウリハダカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	4	樹皮はウリのような模様。葉は分裂し鋸歯が目立つ。紅葉が美しい樹木。400m以上から生える。
5	ウリカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	2	樹皮はウリのような模様。葉は小型で分裂する葉としない葉がある。低地から生息する。
6	シロモジ	クスノキ科	落葉広葉樹	2	葉は3つに分裂し、深く丸い切れ込みが入るのが特徴。低木層に多く生える樹木。
7	ミズメ	カバノキ科	落葉広葉樹	2	葉が重鋸歯で、2枚一緒に出る特徴を持つ。樹皮はサクラに似ており、剥がすと湿布薬（サリチル酸メチル）の匂いがする。
8	イタヤカエデ	ムクロジ科	落葉広葉樹	2	鋸歯を持たないカエデ類であるのが一番の識別点。木材としても高級な樹木。カエデ材は本種。
9	ミズナラ	ブナ科	落葉広葉樹	2	コナラより鋸歯が大きく、葉柄が殆ど無い。温帯林の代表樹種。木材として高級。ナラ材は本種。
10	モミ	マツ科	常緑針葉樹	1	モミは葉先が二股に分かれ、枝が白く、葉が不对称に出るのが特徴。陰樹で日陰に耐える高木である。
11	ツガ	マツ科	常緑針葉樹	1	モミに比べて葉が小さく、先端は尖らない。樹皮が赤身帯びて割れが多い点も異なる。陰樹で日陰に耐える高木である。
12	イヌガヤ	イチイ科	常緑針葉樹	1	こちらは痛くないカヤ。柔らかく葉の裏が白い。陰樹で日陰に耐える亜高木。

瓢ヶ岳 最も印象に残った樹種ランキング2023



実習レポートで、生徒に最も印象に残った樹種を答えてもらったところ、1位がカヤとなりました。触ると葉が痛いのが印象的だったようです。この実習を通じて、多くの樹木を覚えることができました。